

## 伝統工芸等後継者育成支援事業実施要領

### 第1 趣旨

この実施要領は、伝統工芸等後継者育成支援事業費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）の細目について定めるものとする。

### 第2 目的

文化的財産である伝統工芸等の技術は、文化的、歴史的に価値が高く、貴重な財産であるが、現在後継者不足により技術の伝承が危ぶまれている。

そこで、後継者となって技術を伝承する者に対し、技術を習得するための研修・滞在経費等支援制度を創設することにより、技術の伝承と後継者の育成を図るものとする。

### 第3 補助対象者

#### 1 研修従事者の要件

事業終了後も鳥取市内に留まり、当該研修で習得した技術を生かした事業を生業としていく意思がある者。

#### 2 研修受入先の要件

研修従事者に惜しみなく、その技術を伝承し、伝統工芸等の持続的発展を目指す者。

### 第4 事業の内容

#### 1 研修・滞在経費助成事業

##### (1) 事業の目的

研修従事者に対して、研修・滞中に要する経費を助成することにより、研修滞在中の負担を軽減する。

##### (2) 事業内容

要綱別表第3欄の規定に応じて、研修・滞中に要する経費を助成する。ただし、同欄①にあっては受入先において一日当たり6時間以上、一月に15日以上かつ120時間以上研修する者を対象とし、同欄②にあっては受入先において一月に15日以上かつ120時間以上研修する者を対象とする。

##### (3) 研修期間

研修期間は、病気、怪我、天災その他やむを得ない理由により研修ができないと市長が認めた期間を除いて通算した期間とする。

##### (4) 同伴家族についての注意事項

同伴家族とは、研修従事者と生計を一にする者とする。

##### (5) 課税についての注意事項

この助成金は収入にあたるため、金額によっては所得税の対象として確定申告が必要となる。

## 2 研修受入助成事業

### (1) 事業の目的

研修従事者を受け入れて技術を指導する受入先に対して、研修受け入れに要する経費を助成することにより、受入事業者の負担を軽減する。

### (2) 事業内容

研修従事者一人当たり、研修期間に応じて、研修受け入れに要する経費を助成する。ただし、受入先の代表者が研修者の3親等以内の親族である場合又は、研修従事者の病気、怪我、天災その他やむを得ない理由により研修ができないと市長が認めた期間は助成を行わない。

区分	助成額
研修従事者1人当たり受入助成額（月額）	30千円

### (3) 受入中止の申出

研修受入先は、研修従事者にやる気が認められない等、これ以上の研修を続けることが適当でないと判断されるときは、経済・雇用戦略課に受入の中止を申し出ることができる。受入の中止が申し出された場合は、必要に応じて面談を実施し、研修従事者と研修受入先の双方の合意に基づき、伝統工芸等後継者育成支援事業を中止するものとする。

## 3 家賃助成事業

### (1) 事業の目的

研修従事者が研修のため市内に転居する場合の賃貸住宅の家賃を助成することにより、研修滞在中の負担を軽減する。

### (2) 事業内容

研修従事者に対して、第4に定める研修期間に応じて、賃貸住宅の家賃を助成する。ただし、受入先の代表者が3親等以内の親族である場合は助成を行わない。

区分	助成額（上限）
家賃助成額（月額）	20千円

## 第5 事業の実施手続

事業の実施に係る手続は、次のとおりとする。

- 1 研修従事者は、**別記様式**（次代を担う伝統工芸技術の研修従事申込書）を経済・雇用戦略課長に提出しなければならない。
- 2 市は、申込書受理後、必要に応じて面接を実施するものとする。
- 3 事業の実施が承認された場合は、研修従事者と研修受入先の双方の合意に基づき、要綱第6条の規定に定められた事業実施計画書を提出するものとする。
- 4 実施計画書に変更が生じた場合は、前項の規定を準用するものとする。

附 則

この要領は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年5月1日から施行し、平成29年度採択事業から適用する。

附 則

この要綱は、平成31年3月25日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年1月1日から施行する。

別記様式

次代を担う伝統工芸技術の研修従事申込書

受付番号：

(ふりがな) 氏名		生年月日	年 月 日 (満 歳)	写真貼付
現住所				
電話番号				
メールアドレス				
該当産業に 関する学歴 訓練・研修歴	学校・機関名	期間	学科・内容	
職歴	勤務先	所在地	職務内容	勤務期間
				年 月 から 年 月 まで
				年 月 から 年 月 まで
				年 月 から 年 月 まで
志望の動機				
アピール ポイント				

私は、伝統工芸技術である \_\_\_\_\_ の次代を担う後継者候補として、事業終了後も鳥取市内に留まり、当該研修で習得した技術を生かした事業を生業としていく意思で研修に従事したいので申し込みます。

年 月 日

氏名 Ⓜ

保護者氏名 Ⓜ

※ 氏名を自署する場合は、押印は不要です。

※ 保護者氏名は研修従事者が未成年である場合に記入してください。